

ご取材のお願い

平成24年4月3日
野田村住民福祉課
公益財団法人ヤマト福祉財団

野田村保育所再建事業に伴う地鎮祭の開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第2次助成先の一つである社会福祉法人 野田村保育会（以下「野田村保育会」と略記）にて、平成24年11月に完成予定の野田村保育所の地鎮祭が行われる運びとなりました。

岩手県北東の沿岸部にある野田村は東日本大震災では津波により甚大な被害を受けました。湾岸から西に500メートルの場所にあった野田村保育所は、津波により建物は跡形もなく流され、今はそのときの様子を知る門柱が残るばかりです。しかし、日頃から大津波を想定した避難訓練を実施していたため、震災当日は通っていた園児84人（0歳～6歳）と職員16人は2キロ先の高台の避難場所に全員無事に避難し『奇跡の脱出』と話題となりました。

震災により施設を失った野田村保育所は、廃園となっていた旧新山保育所で保育を続けていますが、定員45名と少なくまた老朽化が激しいため、園児を分散せざるを得ません。復興に走り回る保護者のためにも、子どもたちを安全に預かる施設が早急に必要です。子どもたちの命を危険にさらさないよう、安全な高台移転を考えていましたが、移転では原形復旧が原則の国の補助はつきませんでした。

ヤマト福祉財団では、復興に向けた地域就労環境を一刻も早く良い状態にすることが必要と考え、昨年10月に保育所を高台に再建する費用、2億8000万円の助成を致しました。



（野田村役場）



（流失した旧施設）



（高台の建設予定地）

東北の復興は途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

野田村 住民福祉課 保健福祉班 担当：森・和野（0194-78-2927）

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時

平成 24 年 4 月 11 日（水） 午前 11 時より

2. 場所

岩手県九戸郡野田村大字野田第 15 地割 22 番 5
（J A 新いわて菌床培養センター隣り）

3. 主な出席者（敬称略）

（1）野田村

村長 小田祐士

（2）野田村

村議会議長 貳又正人

（3）社会福祉法人 野田村保育会

理事長 岩岡吉比古

（4）社会福祉法人 野田村保育会

野田村保育所長 玉川久美子

（5）公益財団法人 ヤマト福祉財団

理事長 有富慶二

4. 施設概要

（新施設）木造平屋建て 建物：856.25 m²、敷地：5361.39 m²

園児：90 人定員、職員：16 人

（旧施設）木造平屋建て 建物：638.30 m²、敷地：3042.17 m²

園児：90 人定員 職員：16 人

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。140 億円以上が見込まれるヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般からも募金を募り、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。既に 24 件の事業に対して、105 億円以上の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。